

## 令和6年度 第4回 知立市環境審議会 議事概要

- 1 日時 令和7年2月12日（水）午前10時から正午
- 2 場所 知立市役所 第10会議室
- 3 出席者及び欠席者
  - (1)出席者 会長、副会長、委員6名
  - (2)欠席者 委員2名
  - (3)事務局 市民部長、環境課長、ゼロカーボン推進係長、ごみ減量係長、環境課主査 1名
- 4 議事
  - (1) 議題事項1 「知立市エコプラン」の中間見直しについて
  - 議題事項2 「令和7年度知立市環境保全事業計画」について
  - 議題事項3 「令和7年度知立市一般廃棄物処理実施計画」について
  - 議題事項4 「ごみ減量に繋がるキャッチフレーズの選考」について
  
  - (2) 報告事項 「第2次知立市環境基本計画前期実施計画2023年度実績報告」について

### 【議題事項1に関する主な意見・質疑応答】

- 委員 目標達成のための取組の内容について、週休3日制や在宅ワークなど業務面からの取り組みを検討してはいかがか。
- 事務局 ご意見のとおり働き方改革の結果、エネルギー消費が減ることが考えられる。エコプランはエネルギーに着目した施策を記載しており、働き方改革については、いろいろな部署に関わりのある内容となるため、エコプランに取り入れることは難しいが、重要な視点であり、検討事項とさせていただきたい。
- 委員 市の公共施設に導入を予定する太陽光発電設備は自家消費を前提とした設備であるか。また余剰電力の活用方法については売電を行うのか。
- 事務局 自家消費が基本となり、余剰電力については売電を行うことを考えている。避難施設については、蓄電池の設置をすることにより緊急時において電気を使える環境を整えることができるため、施設ごとに検討をしていく。

### 【議題事項2に関する主な意見・質疑応答】

なし

### 【議題事項3に関する主な意見・質疑応答】

- 委員 警察では、個人が関係する廃掃法違反に関する事案が増えている。独居老人の方は、体が自由に動かないことから、適当な場所に捨ててしまったり、自分で焼却処分をしてしまうケースがある。こうした方に対する支援は検討できないか。
- 委員 知立団地では、独居老人の問題が発生しており、中学生がごみ出しを支援し、安否確認にも役立っていると聞く。こうした取り組みがあるとよいと思

う。

事務局　ごみ出しの支援については、平成28年、平成29年頃に行っていたが利用が低調であったため、利用者がいなくなったことを受け、現在は取り組んでいない。ホームヘルパーなど、福祉サービスを利用していただくことも考えられる。ごみ出しの支援は環境部門だけでなく、福祉部門と一緒に検討する必要があると思う、

委員　ごみ出しだけでなく、ごみの持ち去りもある。持ち去りをする時間が暗いこともあり、声をかけることは難しく、もどかしいが、ごみを出した後のルールも守ってもらえるとよい。

委員　私の母は独り暮らしだが、何度言っても分別を正しく理解してもらえない。町内会に入っていると周囲の方が様子を見ることもできるが、入っていない場合は地域から取り残されたようになり、手助けもしづらい。難しい問題だと思う。

話が変わるが、リユースマーケットの会場が変わった。参加者からの意見が反映されたのか。

事務局　参加者からアンケートの結果も踏まえて、様々な場所で開催をしている。

委員　クリーンサンデーについて、参加者が減っているように思う。他市では、興味を持ってもらえるよう工夫を凝らしている。佐久島では、清掃活動で拾ったものをビンゴゲームのように見立て、いろいろなごみが捨てられていることを参加者が把握でき、興味をもってもらえるようにしている。和歌山県では、自分自身の取組のシェアや愛知県ではエコアクションポイントなどを実施している。知立市でも工夫があるとよいと思う。

#### 【議題事項4に関する主な意見・質疑応答】

ごみ減量に繋がるキャッチフレーズについて、11月1日～12月27日の間に485点の応募があり、「S：資源にD：出してG：ゴミs：削減」を最優秀賞とすることになった。

#### 【報告事項に関する主な意見・質疑応答】

なし

(正午終了)